

「ふるさとの昔話より」

三島かたりべの会

初めに	狐の恩返し	細澤 豊子
次に	孝行犬の話	師岡 りみこ
続いて	山中城物語	斉藤 静雄
	1. こだま石	
	2. 間宮彦次郎	

おしみゃーに、みんなで〈こわめし坂〉をしゃべるべえ。

〔会のプロフィール〕

三島かたりべの会は、三島や近郷に伝わるふるさとの大切な伝承文化の昔話を中心に、いろいろな機会に、多くの人々に語り伝えることを目的とする昔話が大好きなグループです。

昔話は心のふる里です。私たちはこれからも、楽しく昔話を語り伝えてまいります、新会員を広く募集しております。

〔今までの主な活動〕

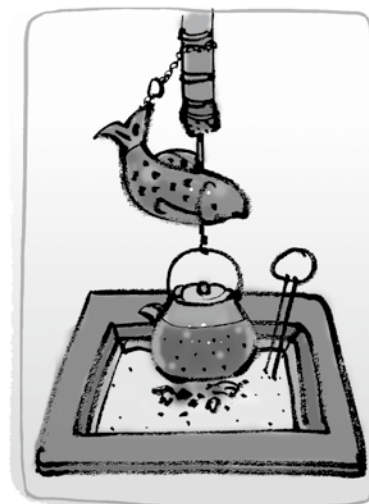
※三島市内や伊豆の各地で昔話を聞く会や楽しむ会を開催。

※昔話キャラバンに参加し、県東部や伊豆の小学校を訪問。

●ご連絡いただければ昔話をお届けに参ります

三島かたりべの会

会長 斉藤 静雄 tel&fax.055-971-3121



今回も…三島弁で語るべえー 《こわめし坂》



わしゃー きょうは こわめし坂の はなしょうしべーと 思ってるだあーけんど…。
私は 今日は こわめし坂の 話をしようと 思います…。

みしまから はこねーと やあーんでく やあーだの みつやしんでにある
三島から 箱根へと 歩いていく 途中の 三ツ谷新田にある

てゃーへんきゅうなあ さかのこんで ずうーとみゃーから こわめし坂って
大変 急な 坂のことで 以前から こわめし坂と

せーってたあだ。
言っていた。

なあんでそうせえたあか としよりに ちょっくら聞いたら
何で その様に言うのか 年寄りに 少し聞いてみたら

おこわを くってから登らにゃーと かったるくて 登れにゃーだあとか
赤飯を 食べてから登らないと 疲れてしまつて 登れないとか

てゃあへん急なあ さかあーやあーくと びっちょり汗きやあて せなきやあ けけて
大変 急な 坂を 歩くと 沢山 汗をかいて 背中に 乗せて

ひちょってたー 米が ふけちまつて おこわになつちまつたあーとか
背負っていた 米が 炊けてしまつて 赤飯に成ってしまったとか

むかしのはなしゃーおもしれえーで あきにゃーよねえー。
昔の 話は 面白くて 飽きませんね。

おしみゃ